

令和4年度無医地区調査結果について

1 要旨・目的

令和5年7月28日付けで厚生労働省から令和4年度無医地区等調査の結果が公表された。本県において、令和4年10月時点の無医地区は53地区となっている。

(令和元年度調査59地区)

「無医地区」の定義
医療機関の無い地域で、当該地区の中心的な場所を起点として、おおむね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区

2 現状・背景

全国の無医地区等の実態及び医療確保状況の実態を調査し、へき地保健医療体制の確立を図るための基礎資料を得ることを目的とし、国により3年周期で実施されている。

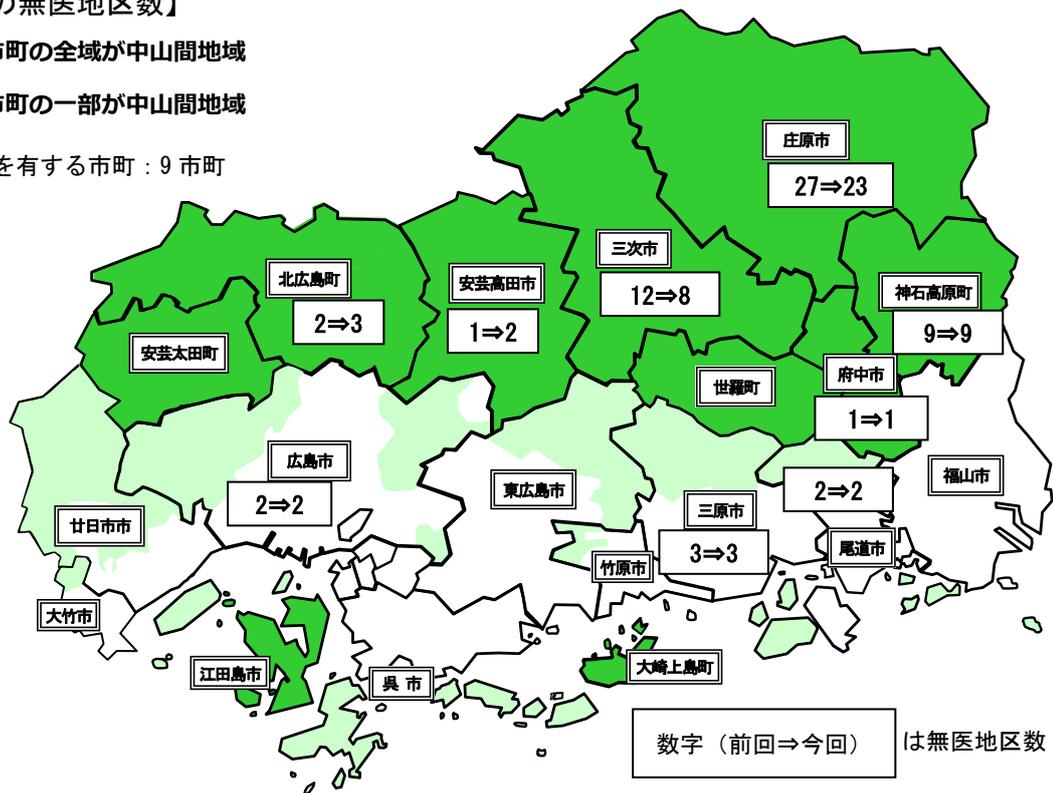
3 調査結果の概要

前回（令和元年10月）	今回（令和4年10月）	増減
59地区	53地区	▲6地区減

【市町ごとの無医地区数】

- 市町の全域が中山間地域
- 市町の一部が中山間地域

無医地区を有する市町：9市町



4 無医地区数の増減とその主な理由（R1→R4）

理由	交通の利便		人口		医療機関の新設・休廃止		地域区分の変更等(※)		増減計
	向上	悪化	減	増	新設	休廃止	減	増	
計	▲1	0	▲2	0	0	+4	▲12	+5	▲6

※ 半径4kmの範囲内の地区数の考え方について、市町に徹底を行い精査した。

【参考：全国の無医地区数（令和4年10月末）】

区分	1	2	3	全国
	北海道	広島県	大分県	
無医地区数	64	53	38	557

【地区別詳細】

市町 (二次医療圏)	増 加		減 少	
	地区名 (地区内人口)	理 由 (調査要領に基づく)	地区名 (地区内人口)	理 由 (調査要領に基づく)
北広島町 (広島)	ミエロ 美和 (480 人)	【医療機関の休廃止】 ○町民バスの運行により対応		
安芸高田市 (広島)	イケクラフ 生桑 (413 人)	【医療機関の休廃止】 ○対応状況 お助けバス、お助けワゴンの運行及び 障害者、要介護者等へタクシー利用助成		
	シモキタ 下北 (243 人)	【医療機関の休廃止】 ○対応状況 お助けバス、お助けワゴンの運行及び 障害者、要介護者等へタクシー利用助成		
			シオモ 塩瀬 (→非該当地区へ)	【その他】 市町による地区精査
三次市 (備北)	ハルキ ツイツカ 春木・辻塚 (161 人)	【地域区分の変更】 市町による地区の精査 (同一生活圏) ○対応状況 市民バスの運行により対応	ハルキ 春木 (→統合)	【地域区分変更】
			ツイツカ 辻塚 (→統合)	【地域区分変更】
	テラバラ モダ カンノセ 寺原・茂田・神之瀬 (228 人)	【地域区分の変更】 市町による地区の精査 (同一生活圏) ○対応状況 市民バスの運行により対応	テラバラ 寺原 (→統合)	【地域区分変更】
			モダ 茂田 (→統合)	【地域区分変更】
	カミゴウ イイダ フナザコ 上郷・飯田・船迫・ カミイチブ 上壱歩 (161 人)	【地域区分の変更】 市町による地区の精査 (同一生活圏) ○対応状況 市民バスの運行による対応	カミゴウ イイダ 上郷・飯田 (→統合)	【地域区分変更】
			フナザコ カミイチブ 船迫・上壱歩 (→統合)	【地域区分変更】
		ウシロヤマ 後山 (→準無医地区へ) (46 人)	【人口減】	
庄原市 (備北)	ユキ 油木 (88 人)	【地域区分の変更】 市町による地区の精査 (同一生活圏) ○市民バスの運行、移動診療車が巡回	マエユキ 前油木 (→統合)	【地域区分変更】
	ヤホコオチアイ 八銚落合 (196 人)	【地域区分の変更】 市町による地区の精査 (同一生活圏) ○市民バスの運行、移動診療車が巡回	コウオ 高尾 (→統合)	【地域区分変更】
			ヒトトバラ 小鳥原 (→統合)	【地域区分変更】
	ヒロ 比和 (721 人)	【医療機関の休廃止】 ○対応状況 西城市民病院による巡回診療実施		
			スガワ ヤマオク 須川・山奥 (→他地区へ統合)	【地域区分変更】
			オクモンデ 奥門田 (→他地区へ統合)	【地域区分変更】
			ウツボリ シオハラ 内堀・塩原・田森 1 区 (→準無医地区へ)	【交通便向上】
		ゴカ 五箇 (→準無医地区へ) (33 人)	【人口減】	
地区数増減	+ 9 地区		▲ 15 地区	